

住友理工、「小牧市自然共生パートナーシップダイアログ」を開催

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、2月29日（木）に当社小牧本社・製作所（愛知県小牧市）にて、「小牧市自然共生パートナーシップダイアログ」を開催しましたことのお知らせいたします。本ダイアログは、自然共生に関わる小牧市の多様なセクター（企業・行政・市民団体・大学など）による協働を促進することにより、小牧市の自然共生活動がより活気づくことを期待するものです。



ダイアログの様子

小牧市内には小牧山、^{ちて}兒の森などの豊富な自然がありますが、特定外来生物に指定されている動植物が市内で確認されており、在来種への影響が懸念されています。自然共生における生物多様性を保全するためには、自然環境を保護することの重要性が求められており、小牧市では自然を保全・再生し、生態系を回復する取り組みを推進しています。

今回のテーマは「点の活動から面の活動へ ～未来へ育む環境ビジョンと仲間づくり～」とし、当日は小牧市副市長をはじめ、愛知県庁、小牧市役所、市民団体、大学の有識者などの皆さまにお集まりいただきました。ダイアログでは、自然共生の在り方における各セクターの取り組みを共有した上で、共通認識・方向性を見出し、将来へ向けた小牧市の生物多様性に関する取り組みを協働体制で実現していくための対話を行いました。

ファシリテーターの特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク 代表理事・秦野利基氏は、総括にて「このような対話の場を定期的に設けていただくことが、改めて大切だと感じた。今後、環境教育の一環として活動ができれば、家族間・企業間といった様々な世代との繋がりができるとともに、次世代の担い手が育っていくのではないか。各セクターでの取り組みを『面の活動』として実施・継続していくことが、生物多様性社会の形成に繋がっていくと考えている。今後も当活動を支持していきたい」と述べられました。

住友理工グループは、天然ゴムをはじめ、大気や水、鉱物など様々な自然の恵みを利用して事業活動を行っています。昨年策定した「住友理工 環境長期ビジョン 2050」では、これら自然の恵みや自然環境を事業活動によって破壊することなく、後世に引き継いでいく責任があることを認識し、自然共生社会へ貢献することを掲げています。今後も自然との共生、生物多様性保全のため、近隣地域の他、サプライチェーン全体に活動範囲を広げてまいります。

<参加者一覧> (敬称略)

■ファシリテーター

特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク 代表理事 秦野利基

■ステークホルダー

小牧市役所 副市長 平岡健一

愛知県自然環境課 課長補佐 小川敏幸

愛知県自然環境課 技師 深見優介

小牧市役所 環境対策課 課長 梅村知成

名古屋経済大学 経営学部 准教授 郡麻里

大山川をきれいにする会 代表 小沢道男

兒の森活動グループ 馬場容子

ちごりんの里山 代表 橋本保

住友理工株式会社

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の製造用品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>